

「保健医療科学」
第68巻 第3号 予告

特集：公衆衛生と臨床研究へのCDISC標準導入—疾患横断分析が可能な医療情報の二次利用性の確保へ—(仮題)

History and Vision for Clinical Research on CDISC (仮題)	David R. Bobbitt
日本の医学研究におけるCDISC標準への取り組み (仮題)	木内貴弘
公衆衛生研究での利活用に向けたCDISC標準の必要性 (仮題)	上野悟, 木村映善
神経筋疾患領域におけるCDISC標準の検討 (仮題)	中村治雅
標準医療情報モデルの概念発達と最近の動向 (仮題)	小林慎治
症例登録支援システムにおけるCDISC標準の活用と課題 (仮題)	石田博
CDISC標準を用いた電子カルテシステムの検討と今後の展望 (仮題)	青柳吉博

編 集 後 記

平成から新しい元号「令和元年」が始まり、初めての保健医療科学を皆様にお届けします。今回の特集は「健康危機管理—産学官連携を通じて次の災害に備えるために—」です。

某公共放送が定期的に放映している、東日本大震災で被災した方々の証言をまとめた番組を時々見る機会があります。週末に自宅で放送を聞き流していると、最近では東日本大震災以外の震災を扱っている日もあり、内容も多様になってきました。災害について広く知識を、継続して蓄積していくこと、振り返りの重要性を漠然と感じ始めていたところでの今回の特集です。

様々な分野で活躍している著者らによって執筆された本号では、現場での活動内容やアンケート回答から得られた生の声等も盛り込まれた、近年の日本の災害に対する取り組みの現状・動向を知ることが可能な内容になっています。また、本号で紹介されているマネジメントや方法論は他の領域でも参考・応用できるのではと思います。元号が変わり、新しい時代の空気を感じることもありますが、災害についてはこれまで以上に増えていくと言われていています。次の災害がいつ起きてもおかしくないと言われていた日本に住む私たちにとって、研究や業務という観点を超えて、一人の市民として読んでも興味深い内容です。ぜひご一読いただければと思います。

(政策技術評価研究部 土井麻理子)

正誤表

第68巻第1号

p.3

*<https://www.niph.go.jp/journal/data/68-1/table1.pdf>

→ *<https://www.niph.go.jp/journal/data/68-1/table1.pdf>

p.4

**<https://www.niph.go.jp/journal/data/68-1/table2.pdf>

→ **<https://www.niph.go.jp/journal/data/68-1/table2.pdf>